

令和2年11月30日

川辺町議会議長 平岡 正男 様

川辺町議会議員 井戸 三兼

令和2年川辺町議会第4回定例会一般質問通告書

以下のとおり通告します。

1. 質問名 町長の進退について
2. 回答を求める先 町長
3. 質問の概要

平成29年4月に行われた町長選において、5回目の当選を果たされてから4年が経過しようとしております。

この間、一丁目一番地の公約施策である「比久見地内工場跡地の有効活用策」が頓挫する等あったわけですが、それ以外で、町長独自の政策はあったのでしょうか。小学校将来構想についても、詳細な計画作りまでには至っておりません。

そこで、次の2点についてお伺いします。

1. 残りの任期の間に、何を重点に取り組もうと思われてみえるのか。
2. 来年度は町長選が控えておりますが、ご自身の進退について、どのようなお考えでおられるのか。
再出馬を考えているならば、その際の重点施策と川辺町の具体的な将来展望をどのように考えてみえるのか。

令和2年12月16日

令和2年川辺町議会第4回定例会一般質問答弁書

1. 質問名 町長の進退について（残り任期の重点施策）
2. 質問議員名 井戸三兼 議員
3. 答弁者 町長
4. 答弁の概要

「残り任期の重点施策」についてお答えします。

第1に、新型コロナウイルス対策です。

11月・12月の第3波では一気に陽性者の増加が確認されています。

感染拡大を防ぐためには、新型コロナウイルスの正しい知識を持ち、正しく恐れることです。マスク着用・手洗い・消毒・距離の確保など、基本的な行動を愚直に繰り返すしかありません。広報かわべ、防災行政無線、回覧板、学校教育や福祉医療施設などで、啓発を通して住民皆様へ周知徹底すること。経済的にダメージを受けておられる中小企業や労働者への支援、経済活性化のための施策の展開、学生や児童生徒への援助など、必要な施策を適時的確に展開してまいります。

第2に、防災減災対策です。

防災備蓄倉庫整備、防災行政無線デジタル化、B&G海洋センター非常用発電設備設置など、災害に強いまちづくりを進めています。発災時・発災後の緊急対応（応急・復旧・復興）についての計画である地域防災計画の見直しとともに、発災前に焦点を絞り、災害予防・応急体制整備・迅速な復旧復興体制を検討する国土強靱化地域計画の作成を急いでいます。

第3に、子育て・教育です。

第3こども園空調設備改修、小中学校放送設備改修、中学校倉庫改修等の実施など、教育環境の充実を図っています。懸案の小学校統合計画については、2030年をゴールとして、住民への周知・理解の醸成、基金の構築、小中一貫校の理念の確立、3小学校跡地利用策、スクールバス運行計画、グラウンド配置利用計画、校舎設計施工、教育カリキュラムの立案等々、さまざまな問題が待ちかまえています。これらについて、議員諸氏、町民皆様の叡智を結集し、川辺町の大切な宝である子どもたちの教育の砦を築くべく、ひとつひとつ丹念に実行してまいりたいと存じます。

第4に、移住・定住です。

人口減少の流れが止まりません。本年実施された国勢調査の確定値はまだ発表されていませんが、推定値では9,900人を切った模様です。また、出生数の減少と死亡数の増加が人口減少に大きくひびいています。こういったなかで、空き家改修補助金・定住促進助成金を交付し、移住定住人口の促進を図ります。現在、空き家バンクに登録された34物件中、25件が成約となり、残り9件となっています。今後とも、これらの制度を活用して、移住・定住人口の増加を図ってまいります。

1. 質 問 名 町長の進退について（進退、重点施策、将来展望）

川辺町が抱えている緊急かつ重要な事業があり、現在はそれらに全力で取り組んでおります。また、第5次総合計画後期基本計画、川辺町総合戦略、川辺町国土強靱化地域計画、第6次行政改革大綱などに従い、日々の業務をひとつひとつ遂行しております。

来年5月19日までが私の任期であります。その後のことについて、現在は考えがまとまっておりません。決意が固まり、心の準備ができましたらお伝えしたいと存じます。